

2021年4月1日
70号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(354)5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>
※バックナンバーは当院ホームページに掲載しております。

ごあいさつ — 地域を護る病院として —



院長 吉井 慎一

2021年4月、新型コロナウイルス感染症が終息しないまま、新しい年度を迎えることになりました。「自粛」による生活の制限は続いています

が、今年度こそ少しでも良い方向に向かって欲しいと、誰もが期待していることでしょう。

当院は通常診療だけでなく、「感染症指定医療機関」として、新型コロナウイルス感染症の診療も行っています。可能な限りの感染対策を行い、昨年度は何とか大きな医療業務の縮小なく乗り切ってきました。これは当院職員が、医療従事者として強い自粛要請に従って1年過ごしてきたことと、地域の皆様の協力があったのことに感謝いたします。3月21日には、1都3県の緊急事態宣言が解除されましたが、変異ウイルスの問題も含め、再度感染者が増加することも懸念されます。このような状況を少しでも好転させるものとして、新型コロナウイルスワクチン接種に期待がかかります。

国のワクチン接種計画は、4つのグループに分けて順次接種するというものです。第一グループは「医療従事者等」の優先接種で、3月4日に初回接種分が当院に到着いたしました。今後、ひたちなか市医師会、ひたちなか市、ひたちなか保健

所で協議し、2回目の接種を含めて5月上旬までに、登録された医療従事者の接種を終える予定です。第二グループは、65歳以上の高齢者優先接種です。第三グループは「基礎疾患を有するもの」となっていますが、その多くは65歳以上です。したがって、診療所や病院に通院中の65歳以上の方は、原則それぞれの医療機関での個別接種、それ以外の65歳以上の方は、各市町村が計画する大型施設等での集団接種を受けることが原則となります。当院は、かかりつけ患者の接種は行いますが、一般の方の接種はお受けしない方針です。急性期病院としての役割を果たしていくため、皆様にはぜひご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。もちろん、地域の医療機関として、集団接種への医師・看護師の派遣は、微力ながら協力する予定です。

昨年12月から、当院循環器内科に非常に大きな戦力「心臓カテーテル治療のスペシャリスト」が加わり、3月には、通常のカテーテル治療では難しい冠動脈に対しての新しい治療も開始されました。今年度は、大きな医師の増減なくスタートしましたが、5月には、消化器外科に「食道外科のスペシャリスト」が加わります。今後、食道がんだけでなく、難しい胃がんの手術レベルも、今以上に向上いたします。今年度は、昨年度以上に充実した診療科になることを期待しています。

最後になりますが、まだまだ厳しい状況ではありますが、「地域を護る病院」として、職員一同がんばっていく所存です。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

4月		5月		6月		7月																							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
				1	2	③							①				1	2	3	4	⑤						1	2	③
④	5	6	7	8	9	⑩	②	③	④	⑤	6	7	⑧	⑥	7	8	9	10	11	⑫	④	5	6	7	8	9	⑩		
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰		
⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔		
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛		

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日



循環器内科



循環器内科 悦喜 豊

主とする対応疾患

虚血性心疾患（急性心筋梗塞、狭心症）、心不全（心臓弁膜症、肥大型心筋症、拡張型心筋症、高血圧性心筋症、その他）、閉塞性動脈硬化症および動脈疾患、深部静脈血栓症、不整脈（心房細動など）、高血圧症など

科の特徴

「循環器内科」は主に心臓と血管の病気に対して予防・治療・再発防止に取り組む診療科です。当科が対象とする疾患群は、高血圧・高脂血症・糖尿病・肥満といった生活習慣病に密接に関り、いったん発症すると生命予後に大きな悪影響を及ぼすと考えられています。

当院は日本循環器学会の認定循環器専門医研修施設であり、緊急体制も豊富な経験を有するスタッフにより診断や治療を行うことが可能となっています。なお病状急変時の救急体制につきましては、カテーテル治療を含めて対応しています。

また、このような循環器疾患の予防（一次予防）治療、および心臓リハビリテーションや生活習慣病の管理による再発予防（二次予防）治療は当科にて専門的に行い、その後は近隣のかかりつけの先生方と連携させていただき、当地域の循環器診療に貢献したいとスタッフ一同考えています。

診療体制

夜間・休日の場合、当直医師が初期診療を行います。状況に応じて循環器内科医師が診療を行います。また緊急時の対応として24時間体制で、カテーテル治療、ペースメーカー治療を行っています。

私たちの信条

現在、我が国は急速に高齢化が進んでいます。ひたちなか市におきましても、今後2045年までにはおよそ10人に4人が65歳以上の高齢者になると見込まれており、心臓と血管の病気を有する患者さんが増加することが予想されます。

また、平均寿命と健康寿命（健やかに生活できる年齢）との間には約10年の間があり、すなわち10年くらいは寝たきりあるいは介護を必要とする生活を過ごさなければならない実態もあります。この原因の多くを占める疾患が心臓と血管の病気（特に脳卒中）であることも分かっており、国としても対策を始めたところです。

私たちは、このことを基に、地域の皆様の健康が維持でき、また緊急時には的確な診療が速やかにできるよう今後も努めてまいります。



循環器内科医師&病棟スタッフ

部署紹介 TQM統括室 品質管理センタ

TQMとは、Total Quality Managementの略称。『組織全体として統一した「(品)質」向上への取り組みを経営戦略へ適用する事』を目的とした組織となっています。

品質管理センタでは、『医療サービスの質』向上のため、病院共通事項の仕組みづくりや病院理念で掲げる『地域を護る病院』として、災害や新型インフルエンザ発生時でも病院が継続できる仕組みを整えるためISO9001：品質マネジメントシステムとISO22301：事業継続マネジメントシステムの認定を受けています。

さらに病院機能評価の認定も受けているとともに、病院独自の活動として、組織横断的改善活動（TQC活動）の推進にも力を入れ成果の発表会を開催しています。

また、患者さんの個人情報適切に管理できるようプライバシーマークの認定も受けています。これからも患者さんが安心して受診できるよう頑張っています。



品質管理センタスタッフ



日本医療機能評価機構



TQC活動発表会の様子

地域の先生紹介

ひたちなか母子の病院

当院は、1970年に開設された産科婦人科原病院を引き継ぎ、私の院長就任を期に1992年に病院名を現在の名称に改称して以来、多くの新しい命の誕生をお手伝いしてきました。そしてこの間、2007年には病院を法人化して組織の近代化を図り、また2013年3月には市道を挟んだ斜め向い現在の地に新築移転し、清潔で安全、安心の施設創りに励んで参りました。

当院の診療範囲は妊娠、分娩、育児を中心に思春期相談、不妊診療、各種婦人科疾患の診断・治療、更年期治療など広範囲にわたりますが、現在新旧4名の常勤医と3名の非常勤医および経験豊かな各部署のスタッフが全力で対応させていただいています。

当院の開設以来の理念は“温かい医療を求めて・・・赤ちゃんからお年寄りまで次代を担う女性の為のトータルヘルスケアを・・・”です。

今後ともひたちなか総合病院を始めとする連携施設や近隣施設の皆様のお力を借りながら、女性の皆様が日常的に遭遇する出来事あるいは喜びや悲しみをきちんと受け止め、寄り添うことができる“女性専門の病院”として高い目標をかかげて頑張っていきたいと思っています。



院長 手島 研作



医療連携に関するお問い合わせは地域医療連携推進センタへ

8：15～16：30（月曜日～金曜日）

TEL 029-354-5202（直通）

FAX 029-354-5220（直通）

新型コロナワクチンの正しい情報を入手しよう！

いよいよ日本でも新型コロナワクチンの接種が始まりました。4月からは医療従事者に続いて高齢者の方々への接種も始まる予定ですが、ワクチンを接種することについて不安がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

まず、みなさんに知っておいていただきたいことは「100%安全なワクチンというものはない」ということです。どんな薬でも多かれ少なかれ副作用があるように、ワクチンでも何らかの副反応が起こるリスクは誰にでもあります。大事なことは、こうしたリスクとワクチンを接種することによって得られる恩恵のどちらに重きを置くかということです。

新型コロナワクチンについては、様々な情報が氾濫しています。とりわけ、マスコミはセンセーショナルに不安を煽る報道をしがちです。新型コロナワクチンに関する正しい情報を入手できるサイトをご紹介します。ワクチンに関する疑問が分かりやすく解説されていますのでぜひご覧になってみてください。

首相官邸サイト 新型コロナワクチン



COV-Navi (こびナビ)



体重管理・生活習慣見直しで体調管理を

皆さん、最近体重計に乗っていますか？この1年体を動かす機会が減り、怖くて乗っていない…もしくは体重が増えてしまった、健診で血圧・血糖・コレステロール等生活習慣病関連の検査値が悪化したという方も多いのではないのでしょうか。まずは生活リズムを整えることから始め、体重測定を習慣化し、体調をダウンさせずに減量をめざしましょう。

〈減量のための3STEP〉

STEP 1：生活リズムを整える

起床・就寝時刻を一定にし、3食を規則的にとる。夕食時刻はなるべく早めに。

STEP 2：活動量を増やす

生活リズムが整うと、エネルギー代謝がよくなります。この状態でウォーキングなどを行うと、よりエネルギーが使われやすくなります。

脂肪を溜めない・血糖値を下げる効果を目的とする場合、食後30分～1時間のタイミングで、体についた脂肪を積極的に減らしたい場合、食後2～3時間後の運動が効果的です。

STEP 3：夕食量を減らす

STEP 1・2での減量が難しい場合は、朝食・昼食でとったエネルギーは夕方までに消費されるため、夕食量を減らしてみましょう。

〈健診結果は経年変化に注目〉

体重が増えた・生活習慣病関連の検査値や体調に問題があれば食事の見直しが必要になります。加齢や生活環境などの変化で体の代謝状態は変化するため、食生活が変わってなくても検査値は変化します。検査値は異常値かどうかだけでなく、経年変化を確認し、悪化傾向であれば基準値内でも早めに食事を見直しましょう。

◆◆◆ 医師異動の紹介 ◆◆◆

診療科	氏名	異動日
内科	徳留和佳	退職(2021. 3. 31)
	堀籠祐一	退職(2021. 3. 31)
	奥田紗帆	採用(2021. 4. 1)
	猪狩弘大	採用(2021. 4. 1)
循環器内科	上原 惇	採用(2021. 4. 1)
	宇佐美 恭平	退職(2021. 3. 31)
呼吸器内科	本田 幸弥	採用(2021. 4. 1)
	大島 央之	退職(2021. 3. 31)
消化器内科	松村 聡介	採用(2021. 4. 1)
消化器外科	城山 真美子	退職(2021. 3. 31)
整形外科	増木 ゆうか	採用(2021. 4. 1)
耳鼻咽喉科	望月 宏美	採用(2021. 4. 1)
	中川 博人	退職(2021. 3. 31)
泌尿器科	塚原 奈々	採用(2021. 4. 1)
	山口 茜	退職(2021. 3. 31)
	菊地 萌未	退職(2021. 3. 31)
歯科口腔外科	山崎 琢斗	採用(2021. 4. 1)
	磯田 文平	採用(2021. 4. 1)
水戸健康管理センタ	清水 梨沙	退職(2021. 3. 31)
	加島 義久	採用(2021. 4. 1)
臨床研修医	石塚 恒年	退職(2021. 3. 31)
	長谷川 瑛里	退職(2021. 3. 31)
	山岸 和美	退職(2021. 3. 31)
	菊池 啓太	退職(2021. 3. 31)
	月岡 響希	退職(2021. 3. 31)
	新田 葉月	退職(2021. 3. 31)
	杉山 博紀	退職(2021. 3. 31)
	岡田 香菜子	退職(2021. 3. 31)
	久壽米木 駿	退職(2021. 3. 31)
	中熊 将太	退職(2021. 3. 31)
	坂 隆寛	採用(2021. 4. 1)
	五味 真帆子	採用(2021. 4. 1)
	田中 真由子	採用(2021. 4. 1)
	土屋 亮介	採用(2021. 4. 1)
	上原 朋也	採用(2021. 4. 1)
	奥田 達也	採用(2021. 4. 1)
	櫻井 亮佑	採用(2021. 4. 1)
高野 竜馬	採用(2021. 4. 1)	
塚田 亮羽	採用(2021. 4. 1)	
安岡 健太	採用(2021. 4. 1)	
吉武 寛隆	採用(2021. 4. 1)	
池田 祥尚	採用(2021. 4. 1)	
新井 昂佑	採用(2021. 4. 1)	